

日本頭頸部癌学会 会員の皆様方へ

平成 30 年 12 月 12 日

日本頭頸部癌学会 理事長 林 隆一

日本頭頸部癌学会 取扱い規約委員会担当理事 松浦 一登

UICC TNM Classification of Malignant Tumours (8th Edition) は本年 5 月に複数箇所の訂正報告が UICC から出されました。これに伴い、今後『頭頸部癌取扱い規約第 6 版』も訂正される予定です。なお、頭頸部悪性腫瘍全国登録（頭頸部がん登録）において、2018 年 1 月 1 日以降の症例につきましては、下記修正後の規定に従って登録下さいますよう宜しくお願いします。

●口唇および口腔

[T-原発腫瘍]の T2, T3, T4a

<誤>

T2 最大径が 2cm 以下かつ深達度が 5mm をこえるが 10mm 以下の腫瘍，または最大径が 2cm をこえるが 4cm 以下でかつ深達度が 10mm 以下の腫瘍

T3 最大径が 4cm をこえるまたは深達度が 10mm をこえる腫瘍

T4a（口腔）下顎もしくは上顎洞の骨皮質を貫通する腫瘍，または顔面皮膚に浸潤する腫瘍

<正>

T2 最大径が 2cm 以下かつ深達度が 5mm をこえる腫瘍，または最大径が 2cm をこえるが 4cm 以下でかつ深達度が 10mm 以下の腫瘍

T3 最大径が 2cm をこえるが 4cm 以下でかつ深達度が 10mm をこえる腫瘍，または最大径が 4cm をこえ，かつ深達度が 10mm 以下の腫瘍

T4a（口腔）最大径が 4cm をこえ，かつ深達度が 10mm をこえる腫瘍，または下顎もしくは上顎の骨皮質を貫通するか上顎洞に浸潤する腫瘍、または顔面皮膚に浸潤する腫瘍

pT 分類も同様に修正

<誤>

T2 最大径 ≤ 2cm かつ 5mm < 深達度 ≤ 10mm

または

2cm < 最大径 ≤ 4cm かつ 深達度 ≤ 10mm

T3 最大径 > 4cm または 深達度 > 10mm

T4a 口腔：下顎もしくは上顎洞の骨皮質を貫通，または顔面皮膚に浸潤

<正>

T2 最大径 \leq 2cm かつ 5mm<深達度

または

2cm<最大径 \leq 4cm かつ深達度 \leq 10mm

T3 2cm<最大径 \leq 4cm かつ 10mm<深達度

または

4cm<最大径かつ深達度 \leq 10mm

T4a 口腔：4cm<最大径かつ 10mm<深達度

または下顎もしくは上顎の骨皮質を貫通するか上顎洞に浸潤

または顔面皮膚に浸潤

なお、TX, T0, Tis, T1, T4a (口唇), T4b (口唇および口腔) には、訂正ありません。

●原発不明-頸部リンパ節

EBV および HPV/p16 陰性または不明

[N-領域リンパ節]の N2c

<誤>

N2c 両側または対側のリンパ節転移で最大径が 6cm 以下かつ節外浸潤なし

<正>

N2c 両側のリンパ節転移で最大径が 6cm 以下かつ節外浸潤なし

<誤>

N2 (c) 両側または対側 \leq 6cm かつ節外浸潤なし

<正>

N2 (c) 両側 \leq 6cm かつ節外浸潤なし

[N-領域リンパ節]の pN2c

<誤>

pN2c 両側または対側のリンパ節転移で最大径が 6cm 以下かつ節外浸潤なし

<正>

pN2c 両側のリンパ節転移で最大径が 6cm 以下かつ節外浸潤なし